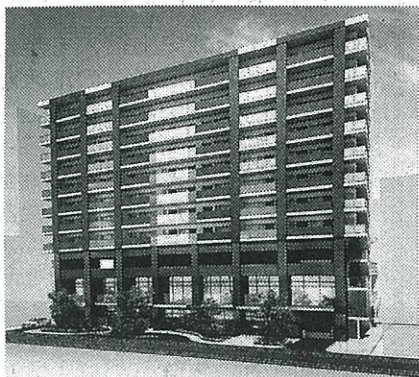


大工町・磨屋町再開発 磨屋町街区が起工

「医・住融合」にぎわい創出



完成予想

実施設計—西松建設
施工—西松建設・合田JV

高松市大工町・磨屋町地区市街地再開発組合（古川康造理事長）は5日、高松市で進めている同再開発事業の第2弾となる「磨屋町街区施設建築物新築工事」の起工式を現地で開いた。丸亀町商店街工

リアの目抜き通りである丸亀町通りの西側に「医・住融合」の延べ約7000平方メートルの再開発ビルを建設する。基本設計はユーザーコンサルタンツ、実施設計は西松建設が手掛けた。施工は西松建設・合田工務店JVが担当し、参加組合員に穴吹興産が参画している。2024年2月の完成を目指す。

神事では鎌（かま）入れを廣瀬智之西松建設西日本支社建築設計部長、鍬（くわ）入れを古川理事長と近藤陽介穴吹興産取締役不動産開発本部副本部長、鋤（すき）入れを田中頭二西松建設四国支店長と森田紘一合田工務店社長が行い、無事竣工を祈念した。発注者あいさつで古川理事長は「にぎわいを創出するには住宅整備は欠かせない。本事業は高松の一等地でもあり、丸亀町で進む再開発の基幹店のマンションとなる」と期待を寄せた。



あいさつする古川理事長

四国支局

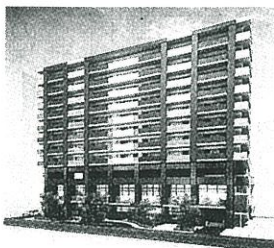
〒760-0013
高松市扇町2-2-5 幸ビル
電話 087-822-2531
FAX 087-823-1654

sikoku
@kensetsunews.com

2022年8月8日(月)
日刊建設通信新聞

12 高松市大工町・磨屋町地区再開発磨屋町街区が起工

高松市大工町・磨屋町地区市街地再開発組合（古川康造理事長）は5日、同再開発事業の第2弾となる「磨屋町街区施設建築物新築工事」の起工式を現地で開いた。丸亀町通りの西側に「医・住融合」の延べ約7,000平方メートルの再開発ビルを建設する。



ンとなる。
一方、22年4月にオープンした大工町地区の施設規模は、S造8階建て延べ1万1560平方メートル。讃岐おもちゃ美術館」や立体駐車場で構成する。両街区の事業は、丸亀町商店街で進む再開発の第

5弾に当たる。
宮内克敏所長（西松建設）の「第1弾の大工町に続き、皆さまの期待に添える建物を引き渡せるよう、安全や周辺環境に配慮しながら努めていきます」

